

67 大平川

68 重則川

69 大倉川



67)大平川
1.
風倒木の崩壊跡



67)大平川
2.
頭首工
 $h=1.5\text{m}$
川は流木と土砂で埋
っている。

67)大平川
3.
風倒木の崩壊跡



67)大平川
4.
段差工
これより上流は三面張工となる。



67)大平川
5.
三面張工+段差工で
固められ、魚はいない。



67)大平川
6.
風倒木の崩壊跡



67)大平川
7.
床留工
h=1.5m
魚の遡上は難しい。



67)大平川
8.
風倒木の崩壊跡

67)大平川
9.
植林地の崩壊跡



68)重則川
10.
床留工と川床状況
今はドロバエとカニ
しかいないが、昔は
大山椒魚も居たとの
こと。



68)重則川
11.
滝
h=15m程の滝があり、
魚の移動は難しい。



68)重則川
12.
滝
h=10m程



68)重則川
13.
頭首工
h=0.5m



68)重則川
14.
頭首工
h=1m

69)大倉川

15.

床留工 h=2m

石積であるが魚の遡上は難しい。



69)大倉川

16.

採石場事務所横

一部に三面張を施工しており、魚の遡上は不可能である。



69)大倉川

17.

谷川状況

転石・岩の分布する自然谷である。

